

【副市長 小川 弘様との面談資料】

No.1

日時 平成 19 年 10 月 11 日 午前 9:00～9:30

会場 新発田市役所

内容 「塩津潟や塩津潟（紫雲寺潟）の認識について」

平成 19 年 10 月 9 日

新発田市役所 副市長

小川 弘 様

塩津潟教育研究所

所長 伊藤 國夫

新発田市は塩津潟をどう認識し、市民へはどのように啓発するかについて

謹啓 小川様の副市長への就任を、心よりお祝い申し上げます。小川様の想像力と行動力が、新発田市のますますの発展に大きく寄与することを信じています。

ところで、新発田市の歴史が、市民に正確に理解されていません。その内容は、塩津潟（紫雲寺潟）についてです。新発田市は、現在次の四つの認識をしています。①塩津潟②塩津潟（紫雲寺潟）③紫雲寺潟④紫雲寺潟（塩津潟）です。各部署によっては、それぞれ違います。しかし、新潟県や各市町村から発信されている公文書は、塩津潟か塩津潟（紫雲寺潟）と呼称し、記述することが多くなっています。この不具合が、各方面に大きな問題点や不具合を起こしています。

そこで新発田市は、下記の事項についてどのように認識し、どのように啓発していくのかをご教示ください。《記述は、“はい”・“いいえ”に○印で囲んでください。〔 〕内には、“はい”・“いいえ”のその理由等をお書きください。》

記

1 『新発田市史』上巻の 815 頁上段一行目「正保二年越後絵図を見ると、紫雲寺潟のまわり・・・」の紫雲寺潟が間違っています。正しくは、塩津潟です。この記述を訂正しませんか？ ⇒これは非常に大きなミスです。

・ はい [ ]

・ いいえ [ ]

2 『正保二年越後絵図』を、学校等の公共施設に配布しませんか？ ⇒新発田の印刷所にあります。

・ はい [ ]

・ いいえ [ ]

3 『平成 15 年 3 月市定例議会』で臼井教育長は、長谷川晃議員の質問に「塩津潟」の存在を公式に明言しました。新発田市は、その後市民に啓発をしましたか？⇒胎内市は「広報たいたい」や『中条町史』で市民に啓発しました。

- ・ はい [ ] No.2
- ・ いいえ [ ]

4 小学校用副読本『わたしたちの新発田』（平成 17 年 3 月発行）は、「(2) 紫雲寺潟の干拓」となっています。その中に一行だけ「紫雲寺潟は、干拓以前には塩津潟と呼ばれていました。」というだけで、教師や児童が新発田市の歴史を理解できると思いますか？ ⇒胎内市は、「塩津潟の干拓」となっています。『手引書』には、副読本と同じ記述です。

- ・ はい [ ]
- ・ いいえ [ ]

5 市立小・中学校の教師が、塩津潟と紫雲寺潟の経緯を知っていると思いますか？ ⇒高校の講演会（8 月 22 日）前に、簡単な調査をしたら殆ど認識していませんでした。

- ・ はい [ ]
- ・ いいえ [ ]

6 市役所の職員は、塩津潟と紫雲寺潟の由来を知っていますか？ ⇒各部課長は、答えられない人が多いです。

- ・ はい [ ]
- ・ いいえ [ ]

7 『加治川村誌』（平成 17 年 2 月発行）は、「第二章 塩津潟（紫雲寺潟）」と記述し、各家庭に配布しています。旧加治川村民に対しては、説明しなくてもいいですか？ ⇒大人には、塩津潟（紫雲寺潟）です。児童には、紫雲寺潟で学習しています。

- ・ はい [ ]
- ・ いいえ [ ]

8 新発田市や新潟県の文化財指定『正保二年越後絵図』どおりに「塩津潟」か、塩津潟（紫雲寺潟）と統一できませんか？ ⇒新潟県立歴史博物館は、「塩津潟（紫雲寺潟）」となっています。

- ・ はい [ ]
- ・ いいえ [ ]

9 『新生新発田 ふるさとの文化を紹介する展示会』新発田市教育委員会主催（平成 18 年 2 月 7 日～2 月 12 日）の案内書には、「紫雲寺潟は、干拓以前には塩津潟と呼ばれていました。」とあります。この干拓以前とは、西暦に直すと 1733 年ですか？ ⇒新発田藩主の新田開発と竹前氏の新田開発を、年表にまとめると分かり易いと思います。

- ・ はい [ ]
- ・ いいえ [ ]

10 胎内市（旧中条町議会）は、「塩津潟」の存在を教育長が答弁していることを認知していますか？ ⇒現在の市民や議員は、認知しています。

- ・ はい [ ]
- ・ いいえ [ ]



11 「塩津」が記載してある古文書の存在を認知していますか？ ⇒胎内市の文化財指定の『高井道円譲状案』（1277年）に、「しうつ＝塩津」が記述してあります。

- ・はい [ ]  
 ・いいえ [ ]

12 胎内市民は、従来から「紫雲寺潟」ではなく「塩津潟」を認識して使用していたことを認知していましたか？ ⇒「しょんづかた＝塩津潟」と以前から言っていました。

- ・はい [ ]  
 ・いいえ [ ]

13 「塩津潟」が記載してある最古の古絵図『康平絵図』（1060年）を認知していますか？ ⇒学者の多くは、この『康平絵図』を採用して「塩津潟」を使用しています。

- ・はい [ ]  
 ・いいえ [ ]

14 新発田藩は会津藩に、「塩」を送っていたかを多くの市民が知っていると思いますか？ ⇒「井上久助の塩止め事件」は、風化しつつあります。

- ・はい [ ]  
 ・いいえ [ ]

15 白井茂夫教育長の答弁（平成15年3月市議会で長谷川晃氏の一般質問に対する）「塩津潟」が、市立小・中学校の教員に理解されていない。また、片山吉忠市長の回答「塩津潟（紫雲寺潟）という“塩の道”に由来する歴史事実に対する市民への啓発・・・」は、市職員には殆ど理解されていない現状でいいのですか？ ⇒実態調査をしてみると分かります。

- ・はい [ ]  
 ・いいえ [ ]

16 「塩津」という地名や塩津小学校等の固有名詞は、国内に7県あります・これらの各県や各市との「塩の道」に関する交流をする考えはありませんか？ ⇒①新潟県新発田市・胎内市②石川県七尾市③滋賀県西浅井町④島根県出雲市⑤和歌山県海南市⑥静岡県焼津市⑦愛知県蒲郡市は、製塩や、塩を送り出した港があるという共通点があります。

- ・はい [ ]  
 ・いいえ [ ]

17 藩主の新田開発を、食農教育や食育教育に活用しませんか？ ⇒有効と思います。

- ・はい [ ]  
 ・いいえ [ ]

※ 面談時間が少ないので、上記17項目の質問は、文書で回答しておいてください。この資料を基にして対談したいと思います。よろしくお願い申し上げます。 敬白

- (1) 資料 A 『新潟県立歴史博物館』・・・2000年8月発行
- (2) 資料 B 『新潟県地質図説明書』・・・2000年3月発行
- (3) 資料 C 『ふるさと中条』・・・1998年9月発行
- (4) 資料 D 『胎内川の恵み』・『各種古絵図』・・・2002年5月発行
- (5) 資料 E 『わたしたちの郷土 胎内市』・・・2006年3月発行
- (6) 資料 F 『塩津潟は塩の道』・・・2003年8月
- (7) 資料 G 『Shiotsu-gata is the Salt road』・・・2005年3月発行
- (8) 資料 H 『出版記念祝賀会』・・・2006年2月発行
- (9) 資料 I 『奥山荘の歴史と江上館』・・・2003年3月発行
- (10) 資料 J 『蒲原の意味を知っていますか』・・・2006年3月発行
- (11) 資料 1 『にいがた社会教育』・・・2004年8月～12月発行
- (12) 資料 2 『わたしたちの新発田』・・・2005年3月発行
- (13) 資料 3 『新発田市史』
- (14) 資料 4 『豊浦町史』
- (15) 資料 5 『加治川村誌』・・・2005年2月発行
- (16) 資料 6 『県立博物館だより』第17号・・・2007年3月発行
- (17) 資料 7 『県立歴史博物館友の会会報』・・・2002年4月発行
- (18) 資料 8 『新発田市長への手紙』の回答・・・2007年4月
- (19) 資料 9 『国・県・市合同行政相談』・・・2007年9月
- (20) 資料 10 『新発田市・まごころ 対応』・・・2007年9月
- (21) 資料 11 『新生新発田 ふるさとの文化を紹介する展示会』・・・2006年2月
- (22) 資料 12 『市報 たいない』・・・2006年2月
- (23) 資料 13 『新潟日報』塩の道・・・2004年1月・2004年2月
- (24) 資料 14 『静岡県知事の手紙』・・・2007年3月
- (25) 資料 15 『新潟日報』塩津潟は塩の道・・・2007年9月
- (26) 資料 16 『BM 美術の杜』Vol11 塩の道・・・2007年3月
- (27) 資料 17 『公立共済友の会だより』塩の道・・・2007年8月
- (28) 資料 18 『新潟日報』塩津潟・・・1997年11月
- (29) 資料 19 『新潟日報』塩津潟・・・2003年10月
- (30) 資料 20 『日本教育新聞』塩津潟・・・2007年3月
- (31) 資料 21 『塩津潟は塩の道展』・・・2007年7月
- (32) 資料 22 『塩津潟を教材化して』高校の講演会・・・2007年8月
- (33) 資料 23 『新潟日報ミニック』・・・2007年6月～10月 など
- (34) 資料 24 『美術画報』『芸術百家』等々の美術専門誌（全国誌）